

大連市西崗区との友好都市提携に関する協定書調印について

□調印日(予定) 平成20年1月23日(水)午後4時

□調印会場(予定) 花巻市

花巻温泉佳松園

□参考事項

1 西崗区側訪問団の花巻市滞在(予定)

1月22日(火)～24日(木)

2 西崗区側訪問団員

西崗区代表 徐書記ほか 総勢11名

※現在、詳細について連絡調整中

第2回花巻市農業賞表彰について

○ 目 的

農業経営及び農業振興に顕著な業績を上げた者の中から、特に他の模範となる者を本市農業者等への最高顕彰として表彰し、その成果を広く紹介することにより本市農業の発展に資することを目的とする。

○ 表彰式

- ・日 時 平成20年1月26日(土) 午後1時～
- ・会 場 JAいわて花巻総合営農指導拠点センター

○ 主 催 花巻市農業振興対策本部

○ 表彰の種類及び対象

表彰の種類は5部門とし、市内に在住し次の部門に該当する者を対象とする。

ア 営農部門

農業に精励し経営実績が顕著で、農業振興に寄与した者及び組織(法人及び任意団体)

イ むらづくり活動部門

農業経営改善の推進活動及び集落行事活動の実績が顕著である組織(農家組合、自治会等)

ウ 生活・文化部門

農村における生活改善や、農業従事のかたわら、余暇を活用した文化活動が顕著で、社会文化の向上に寄与した者及び組織

エ 功労部門

長年にわたり農業に従事し、農業技術に優れかつ信望もあり、農業振興に寄与した者(年齢は概ね60歳以上)

オ 青年農業奨励部門

農業に精励し経営実績が高く、農村の担い手として将来が期待できる概ね35歳以下の者

○ 受賞者 別紙名簿のとおり

第2回花巻市農業賞部門別受賞者一覧

	氏名(団体)	生(設立)年月日	住 所	功績の概要
営農部門	と だ い え い の う く み あ い 外 台 営 農 組 合	平成13年 9月 6日	花巻市十二丁目	高齢化・担い手不足解消のため、平成13年9月に23名の組合員で組織を立ち上げ。担い手農業者の確保を図るとともに、組合員の加入促進をすすめる規模拡大、生産物の品質向上を図り、所得向上につなげている。
	く ず ま き ま さ た だ 葛 巻 正 忠	昭和34年12月19日	花巻市葛	水稲・野菜・菌茸を組み合わせた営農実践。特にも冬期促成アスパラガスの栽培技術の確立と、実証を行うとともに地域への普及に努め、冬期の所得確保が図られた。
	えんまんじ アドバンス 円 万 寺	平成13年 4月 1日	花巻市円万寺	小麦・大豆の転作組織から、現在は米も含めた経営に転換。農地の荒廃を防ぐため、地域の2/3の農地利用集積を進めるとともに、平成23年の法人化に向けて取組みを行っている
	て る い し ず お 照 井 静 雄	昭和26年 4月 7日	花巻市太田	管内で初めシンビジウムを導入し周年作業による農業警衛の転換を進た。また無人ヘリオペレータのオペレータをはじめ集落内で立ち上げた太田中央生産組合の組合長として組織の取りまとめ・運営に尽力している。
	な か て ら ば や の う き ゃ せ い さん く み あ い 中 寺 林 農 業 生 産 組 合	平成16年 7月10日	花巻市石鳥谷町中寺林	品目横断的経営安定対策の加入による水稲・転作部門の一元経理に取組むとともに、畑作物の作付により地元女性・高齢者の雇用の場を確保することにより農家所得の向上につなげている。
	ふ じ 藤 原 清 志	昭和25年10月 5日	花巻市大迫町大迫	集落の耕作放棄地の増大をとめるため、集落の7割程度の農地の作業受託による農地の集積を行い、作業の効率化によるコスト低減を図る。このことにより他の農家が、稲作以外の作物に転換し、所得向上につなげている。
	お ば ら よ う い ち 小 原 洋 一	昭和24年 2月25日	花巻市東和町鷹巣堂	町内で、いち早くりんごのわい化栽培に取り組み、営農の柱として経営の安定化を図るとともに、果樹部会のリーダーとして果樹振興に尽力。また、県の農業農村指導士として研修の受入などを行う。
生 活 門 文 化	た ち が ら か ぐ ら ご ん げ ん ま い 田 力 神 楽 権 現 舞	昭和48年	花巻市田力	農業のかたわら、地域の伝統神楽を守り、花巻まつりをはじめとする各種行事への参加活動を行っている。
功 勞 部 門	せ 瀨 川 の り や す 徳 康 な が こ 長 子	昭和 4年 2月 6日 昭和 9年10月20日	花巻市四日町一丁目	いずれも、長年にわたり農業に従事・精励するとともに、地域の農業振興に尽力・貢献した功績が顕著である。
	お だ し ま 小 田 島 し ょ う ろ く 六 キクノ	昭和 6年 4月 1日 昭和11年 5月15日	花巻市矢沢	
	つ か さ わ 塚 澤 か ず お 雄 と し こ 子 敏 子	昭和14年 5月23日 昭和18年 2月16日	花巻市葛	
	ふ じ 藤 原 か つ ひ こ 克 彦 や え こ 弥 栄 子	昭和11年 6月 9日 昭和15年 3月 3日	花巻市湯本	
	い とう 伊 藤 た か し 卓 た だ こ 子 忠 子	昭和 9年 9月20日 昭和16年 3月25日	花巻市湯口	
	か ま だ 鎌 田 き ち ろ う 吉 郎 し ん 進	昭和 4年 2月 1日 昭和 4年 4月25日	花巻市太田	
	ね 根 こ 子 ひろし 宏 スズエ	昭和 8年 2月14日 昭和 7年 4月30日	花巻市中笹間	
	か わ む ら 川 村 こ う し ん 孝 信 え い 栄 子	昭和15年 2月25日 昭和17年 1月 5日	花巻市大迫町亀ヶ森	
	な 中 村 ま ん え つ 万 悦 け い こ 子 敬 子	昭和 6年 3月 9日 昭和 7年 4月30日	花巻市石鳥谷町八重畑	
	お い かわ 及 川 の り お 雄 典 子 あ つ 敦 子	昭和 9年11月 9日 昭和11年 2月 9日	花巻市東和町安俵	
奨 励 青 年 農 業 部 門	お お す が とも か ず 大 菅 智 和	昭和56年 3月 7日	花巻市田力	平成15年就農とともに、無人ヘリコプターのオペレータ資格取得。地域の農作業オペレータとして従事するとともに、菌床椎茸導入により秋冬期の所得確保を図っている。
	は れ や ま ま さ て る 晴 山 昌 晃	昭和46年 5月15日	花巻市石鳥谷町滝田	農林水産省落葉果樹農業研究所において、果樹栽培を研修ご果樹部門の作業全般販売を担当。販路拡大のためホームページ開設などなどの取組みを行っている。

第50回わんこそば全日本大会実施要綱

1 開催日時

平成20年2月11日（月・祝） 10:30~15:50

2 開催場所

花巻市文化会館大ホール（花巻市若葉町三丁目16番22号 TEL 0198-24-6511）

3 目的

およそ370有余年の歴史と伝統に育まれた風味をもつ元祖花巻わんこそばを、みちのくの味の観光として定着させ、観光都市花巻の振興に寄与することを目的とする。

4 主催

わんこそば全日本大会運営委員会

構成：花巻そば友の会・花巻市・花巻商工会議所・(社)花巻観光協会・花巻農業協同組合・岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合花巻支部

5 後援（予定）

(財)岩手県観光協会・岩手日報社・朝日新聞盛岡総局・読売新聞東京本社盛岡支局・毎日新聞盛岡

支局・河北新報社盛岡総局・岩手日日新聞社・サンデータイムス社・NHK盛岡放送局・IBC岩手放送・テレビ岩手・めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・エフエム岩手・花巻ケーブルテレビ

6 大会種目及び参加者数

(1) 小学生の部（小学生3人1組）	10組30名
(2) 個人の部	30名
(3) 男女ペアの部	10組20名
(4) 団体の部（3人1組）	20組60名
(5) アトラクション（二人羽織の部）マスコミ対抗	10組20名

7 競技方法

- (1) 小学生の部は、1人3分間で3人の合計した杯数を競う。
- (2) 個人の部は、5分間で杯数を競う。
- (3) 男女ペアの部は、1人5分間で2人の合計した杯数を競う。
- (4) 団体の部は、1人5分間で3人の合計した杯数を競う。
- (5) アトラクションは、1人3分間とし、表彰の対象外とする。

8 表彰

- (1) 各部門（アトラクションを除く） 1~3位まで
- (2) 横綱 男女ペア・団体・個人の部の中の最高杯数者
- (3) 三賞 殊勲賞・敢闘賞・技能賞 各1人

- (4) 応援賞 来場者のうち1団体（個人含む）

9 参加料

- | | |
|------------------|--------|
| (1) 小学生の部（3人1組） | 1,500円 |
| (2) 個人の部 | 1,500円 |
| (3) 男女ペアの部（2人1組） | 3,000円 |
| (4) 団体の部（3人1組） | 4,500円 |

10 参加申込み

- (1) 申込期間……平成19年12月10日（月）から平成20年1月7日（月）
- (2) 申込方法……所定の用紙による申込み、（郵送、ファクス、Eメール）
- (3) 申込み先……花巻商工会議所、花巻市観光交流課

11 花巻特産品コーナー（大ホールホワイエ）

漬物やワイン、日本酒など花巻の特産品を集めたミニ物産展

12 大抽選会の開催

温泉宿泊券等が当たる抽選会を会場内で実施

13 そば茶屋（中ホール）花巻そば友の会によるそばの提供（有料）

14 第50回大会記念事業

(1) わんこそば全日本大会「50年の歴史展」（大ホールホワイエ他）

半世紀にも及ぶ全日本大会の歴史を振り返り、これまでの写真等の資料を展示する。また、10月に米国ホットスプリングス市、ニューヨーク市で開催したわんこそば大会の様子がわかる資料も展示する。

《市内各所での展示》

- 展示資料：写真パネル、番付表 他
- 展示場所：わんこそば店、ステップイン花巻、花巻空港、道の駅 他
- 期 間：1月～3月

(2) 「郷土芸能披露」（大ホール）

大会開始前、各部門の合間に市内団体による郷土芸能を披露し大会を盛り上げる。

(3) わんこそばアメリカ大会への協力

花巻市の姉妹都市ホットスプリングス市及びニューヨーク市で開催されるわんこそば大会に協力し、運営委員会会員の派遣による人的協力及びわんこそば道具の送料等を負担する。

(4) わんこそば全日本大会功労者表彰

わんこそば全日本大会50年にわたる歴史の中で大きな功績のあった方を功労者として表彰する。

わんこそば祭り 実施要綱

1. 開催期間
平成20年1月25日（金）～2月11日（月） 18日間

3. 実施内容
期間中、市内わんこそば店及び一般そば店にてそばを食べた方に様々な特典を用意し花巻そばのPRを行う。

【わんこそば店】
 - ・期間中わんこそば料金1割引き
 - ・各わんこそば店にて杯数競争を行い、各店上位3名には記念品をプレゼント
 - ・50回大会記念てぬぐいプレゼント（わんこそばのお客様にもれなく）
【一般そば店】（わんこそば店も含む）
 - ・期間中そばを食べた方に対して、もれなく特産品抽選応募券を贈呈
そば1杯につき抽選応募券（金額を問わず）
→100名に花巻特産品が当選

4. 実施場所
市内わんこそば店、そば店 計17店